内外電報

英佛露協調努力

ルーター通信員の所報に依れば英佛露三國政府は露國を援けむが爲めあらゆる努力をなしつゝあり英佛間の緊密なる解決を見るに至るべし國際聯盟に赴かばロイド、ジョージ、カーゾン兩氏は今週末ブルターニュに於てミルラン氏と會見するに至るべし（倫敦十六日發）

米國通牒の内容

米國外交部は露國に關する通牒を伊太利に於て發表し（一）露國の國境は三國の目的を害せざる範圍に限定せらるべきこと（二）波蘭民衆に露國の土地を割譲せしめざること（三）過激派を承認せんとする他國民に通告を與ふることを提案せり日本の出兵問題に就ては外國軍隊の露國領土撤退の意味を以てせり日本軍隊の駐屯問題に論及し居れりと一般に信ぜられつゝあり（華盛頓發）

過激派レ市奪取

セヘランのダイムス通信員所報に曰く過激派はレスタン市を奪取し同市の大部分を破壊し過激派の波蘭人を殺害し十八歳より四十五歳迄の男子に向つて參加を命じ全部過激派に殺されたり（倫敦來電）

波蘭の主權容認

露國代表カメナフ氏は十日附露國政府よりの公文を英國首相ロイドジョージ氏に通牒したり露國は右公文に於て波蘭の代表者未だ到着せざるもミンスクに到着せば再び會合をなすべき手續をなし置きたり露國は波蘭の自由獨立及主權を有する何等の意圖を有せずと（倫敦來電）

過派代表伯林着

過激派代表者は獨逸と露國との間の外交關係を再開する爲め伯林に到着せり（巴里電）

伊希亞細亞に提携

土耳古講和條約調印の際伊太利希臘は一の協約をなし亞細亞に於ける各自國の經濟的勢力範圍を確定したり（セーブル來電）

禍首保護は愚策なり

張作霖の時局觀

張作霖氏は日本記者團に語りて曰く吾人は日本と親善を希望するも今日日本が安福派禍首九人の保護を發表せるは愚策にて贊成し難き所なり何となれば支那人の背後に外國人の煽動者の潛在し居る事明なるに日本は却て彼等に排日の口實を與へたればなり九人の禍首の引渡しを要求するが政府にて監禁中なり日本と安福派の關係に存在する各種の密約等に關して保護を通過せざるは之を遺憾とする事甚し（北京來電）

國際條例に基き安福派保護

＝＝北京公使館發表＝＝

徐樹錚、曾毓雋、段芝貴、丁士源、朱深、王郅隆、梁鴻志、姚震及李思浩の九氏は各自日本公使館に來り一身上の保護を求めたるを以て公使館は國際公法及慣例に顧み已むを得ざるものと認め之等諸氏に對し相當保護を加ふる事に決定して之を收容せり而して之等諸氏に對しては政府に就て一切政治に干與すべからざる事を嚴重に申渡し且外部との交通を斷たしめたり右公使館の措置は全く政治上の趣旨を超越し居りて現に之等諸氏の受けつゝある待遇は其附屬政派の如何に拘らず特別の待遇に非ざる事恰も同氏等が他の政派に屬せざる故を以て公使館として之が收容を拒む事能はざると同一なる事充分諒解せらる可しと發せらる（北京來電）

過派頻りに通策

ザバイカルより日本軍撤退すると同時にガツペクー將軍及セミヨノフ將軍の背後には漸次過激軍東漸しつゝあり而して彼の守備兵グロデコフには約二千のセミヨノフ軍あり現にチャトグンなるコサツク旅も之が守備の任に當り居れるが彼等も亦何事を畫策し居れるものゝ如し（浦鹽來電）

政治犯か刑事犯か

安福派禍首追求むる

吳氏上京の目的

福建省討伐問題

セ軍指揮者任命

ウ將軍の責任

支那公使通告

瀨川領事急行

西北籌辦任命

米議員團北京着

監獄會議開期

驛屯土賣拂に就て（上）

水口稅務課長談

島商店愈悲觀

軍司令官更迭

補朝鮮軍司令官 大庭次郎

任陸軍大將 立花小一郎

綿業會社破綻

哈爾賓金融狀況

最近に於ける調査

研究會の批評

取引所決調査

二十七旅營出發

出羽大將伺候

林野調査施行に就て

田中山林局長談

金融依然梗塞

全鮮稻作狀況

炭礦線試運轉

物産出張所縮少

政務總監歸任

全鮮貨消費額

鮮鐵上旬成績

人事

風塵錄

コレラ講座

京城全市今や虎疫の巷と化す 市民は奈何にして此危險を免かれんとする

難攻不落と思つて居た京城にも本月の三日以來コレラが侵入して瞬く間に四百以上の虎疫患者が發生し内約九十名は死亡しました。然かも全鮮には六千八百の患者があり内二千餘名は死亡し一日二百名以上の激增率を以て續續と蔓延して居ります京城は尙ほ毎日數十名づゝの新患者を出し其低止する所を知らないと云ふ有樣で内地人間にも侵入し内地人も既に十餘名の罹病者を出すと云ふ有樣にて誠に粟然として寒心に堪へないのであります、コレラの恐るべきは今更ら謂ふ迄もない事ですが一方コレラは其豫防法宜敷を得ば必ずしも恐るゝに足らないのであります、本紙は各名醫其他のコレラ豫防に對する有益な談話及び誰れにも出來る簡單にして然かも安全な豫防方法の談話を本日の本紙から毎日連載して皆樣の豫防の參考に供したいと思つて居ります、コレラを避け健康を保持せんとする諸彥の御熟讀を願ひます。

虎疫は何の地に何時頃から起つたか

古い歷史を有つ朝鮮のコレラ

嘗て卅七萬の患者を出した其系統と流行經路（上）

千葉總督府醫院醫官談

假に劇增

支那交趾

李朝以前

近年に至

感染系統

平壤のみ

流行の因

山縣公に脅迫狀

萬一を憂へて大警戒

李王殿下から御禮電

米議員來城と共に全鮮を焦土と化せんとした不逞鮮人の陰謀

米議員も血祭に上げて日米開戰の促進

一面には泣哭哀號で米國の袖に縋りつく

假面政治

一大運動

泣哭哀號

米議員團

國際問題

不穩文字

新義州鐵道ホテル爆彈の洗禮を受く

人畜には死傷なし

所謂過派分子の示威運動開始

取締嚴重のため是が最後の妄動だ

數日中には一網打盡と當局は樂觀す

江の島棧橋墜落

百餘の群衆海中に陷る

猫【上】

京奴

釜山で火藥窃取

時局柄大騷ぎ

千させの若江の御芽出度

長春の虎疫

他にも罹病者あるらし

窓から忍び入る

全市虎疫の巷と化す

累計遂に四百二十六

驚くべき勢にて猖獗を極めつゝある京城府内のコレラは府内各地より十六日午前の患者總計は四百名を突破し四百二十六

在囚が殖えた海州監獄

若人の厭世自殺

線路上の大轢死

運動界

明大軍慘敗

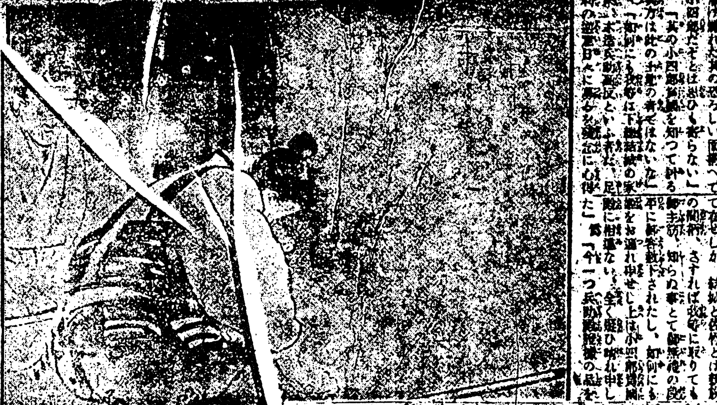


小說 判官照手姫

（四十五） 旭亭桜山 口演

獅子奮迅の兩豪傑

「さらば、獅子は是れにあつて動かず睨いた、何を隠さう我等は、小栗の家來水戸の小四郎勝國といふ者だ」○「ハヽヽ、何をいふ、今が小四郎勝國は勇あり智ある立派な武士だと褒めたのを聞いて……」



讀者の聲

投書歡迎

演藝案内

朝鮮郵船

元山出帆

釜山出帆

木浦出帆

仁川出帆

ナムバーワン

戀慕流し

月やく

おろし通經劑

るいれき

梓書集

刺繡講習



帝貴化粧料

名物 大扶羅 松金

京城本町二丁目

京城 東寶堂

赤心堂石井商店



コレラ豫防に

日本自動車學校

越後屋商店

本場 吳服 京染 悉皆商

健康は人世第一の幸福

高麗參精

AKATAMA

今からの胃腸には

アカダマ固腸丸

樂天堂製藥株式會社

コレラに魚や野菜はダメ

吸物の玉に限るコレラ菌の心配なし

即席料理 美味經濟 吸物の玉



痔疾患者に告ぐ

痔疾ドクトルエキス

東洋家庭醫學研究會

萬年筆御修理には

精巧なる器械と熟練せる職工の具備せる弊店へ

京城本町四丁目

眞繼商店



宮内省御買上品
創業享保十三年
◎山口縣名產

元祖 甘露醬油

岡商店

製造本舗



東洋製藥株式會社



見よ見よ試し見よ優秀なる

の如何に使ひ心地良しきかを

眞繼商店

京城本町四丁目

刺容岡田瀧

富年同厄の士今は壯士の大守 眞繼義太郎著

岡田、宮本兩君肖像入 定價壹圓廿錢

本書の内容

内容目次

大陸出版社

釜山日報代理部



虎疫豫防ネコ

の使用を忘る勿れ